

中央公民館・勤青ホームだより

令和8年3月1日発行



長瀬町中央公民館・長瀬町勤労青少年ホーム

3月号

長瀬町大字野上下郷 3312 TEL:66-1800 FAX:66-1564 Email:koumin-k@town.nagatoro.saitama.jp



やく どう
団体名：躍動

活動日：毎週月・水・金 午後13:30~17:30

連絡先：長瀬町中央公民館 ☎66-1800

会費：無し(卓球の球を購入する際は、その都度徴収します)

その他：無理なく体を動かし、楽しく健康づくり！体を動かしたい方、一緒に始めませんか？

初心者
大歓迎！！



長瀬町公式マスコットキャラクター
とろにゃん

名作劇場「ぼけますから、よろしくお願ひします。」についてのご案内



長瀬町公式マスコットキャラクター
とろにゃん

先月号でご案内いたしました名作劇場「ぼけますから、よろしくお願ひします。」は、おかげさまで大変ご好評をいただいております！多くの皆さまにご鑑賞いただきたく、このたび追加上映をおこなうこととなりました。上映は、午前・午後の二部制で実施いたします！

【午前の部】10:00~12:00 (定員60名) 【午後の部】※受付不可※(会場の都合上満席のため)
なお、これからお申し込みの方は、午前の部のみの受付となります。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

新刊図書のご案内

書籍名	著者	出版社
<p>天運の流れ行くままに 〈太平洋戦争直後の混乱をたくましく生き抜いた女性たちの、不屈の絆と希望〉 昭和の戦争の嵐が吹き荒れる満州で、運命に翻弄された二人の女性。従軍看護婦の伸子と特高警察官の妻・満。それぞれが直面した過酷な現実と、家族を守り抜こうとする母としての強さを描く感動作。</p>	 <p>大山 高志</p>	<p>幻冬舎</p>
<p>喪の旅 朝日新聞人気連載「喪の旅」に加え、夫を亡くした自身の体験を書き下ろして1冊の本に……。死別の悲しみを抱いて、どう生きていくか。これをテーマにさまざまな方に話をうかがい、記事で届けていく。「悲しい」は「愛しい」ー。話して、書いて、読んで、愛しい人を亡くした喪失の痛みをともにする。</p>	 <p>河合 真美江</p>	<p>ティスカヴァー・トゥエンティワン</p>
<p>虚弱に生きる 虚弱体質で生きるリアルをつづった新時代のサバイバルエッセイ。 20代にして老人並の身体。労働する体力も恋愛する元気もない。病気ではない。でも、こんなにも生きるハードルが高い……。</p>	 <p>絶対に終電を逃さない女</p>	<p>抹桑社</p>
<p>哀を飲む 愛を手に入れた時の高揚感、そして愛を手放した時の喪失感、哀しみを飲み込む辛さなど、本書には恋愛が持つ美しさと苦悩と悩みが、瑞々しく描かれています。これは、木爾チレンが描く「究極の愛と狂気」。人生のほんのひとときくらいは、哀しみを味わうのも悪くない。飲み込んだ哀しみは、いつかあなたを生かす血肉になる。</p>	 <p>木爾 チレン</p>	<p>実業之日本社</p>
<p>最後に先生からのお話です 思いやりと気配りで、生徒からも教職員からも大人気だった篠原先生が、学校の屋上から飛び降りて死んだ。誰にも分け隔てなく優しくたはずの篠原先生から、ただひとり“いじめ”を受けていた中学二年生の満島紗枝は、どうしても納得がいかない。篠原先生を崇拜していた下級生の茉莉花と共に、紗枝は先生を死に追いやった真犯人を探す。次々と明らかになっていく聖職者の真実とは……。</p>	 <p>鶴野 莉紗</p>	<p>角川書店</p>
<p>白露 警視庁強行犯係 樋口顕 東京・世田谷区の工事現場で起きた殺人事件。第一発見者は、現場で働く南アジア国籍の男性だった。事件とは無関係にもかかわらず、SNSでは外国人であることを理由に、実名や顔写真、住所までが晒され、疑いの目が向けられている。捜査にあたる刑事・樋口は、殺人事件の真相とともに、暴走するネット世論とフェイクニュースの闇に立ち向かう。真実とは何か、信じるとは何か。</p>	 <p>今野 敏</p>	<p>幻冬舎</p>
<p>考えてはいけないことリスト 学術論文が教えてくれた、考えると不幸になる25のこと & 考えると幸せになる12のこと。「考えない自由」を手にしたとき、あなたの毎日はもっとやさしく、もっと軽やかになります。ページをめくるたびに、あなたの中に「考えない自信」が芽生えていくはずです。</p>	 <p>堀田 秀吾</p>	<p>フォレスト出版</p>
<p>つかめ！理科ダマン10 地球のひみつを掘り起こせ！編 キャンプに出かけたシンたち家族が見つけたのは、恐竜の化石!?そして、中生代にタイムスリップしてしまったようで……。そんなドキドキハラハラの冒険の中で、地層・火山・地震など、地球のひみつに迫ります！</p>	 <p>シン・テフン</p>	<p>マガジンハウス</p>
<p>おいでようばごろう うばごろうがのんびり暮らすハナレ島にひっこしてきた、おにごろう。「仲良くなりたい……でもどうしたらいいんだろう？」そんな小さな想いから、うばごろうの“なかよし大作戦”が、はじまります。</p>	 <p>佐藤 大樹 幸田 もも子</p>	<p>双葉社</p>
<p>みえないおしごと 身近で見慣れたあれこれが、覗いてびっくり、まさかの中身！回転すしは人力で、公園の噴水は、実は……。この本を読むと、いつもの町や毎日の生活が、ちょっとちがって見えてくるかもしれません。大切な気づきをくれる一冊です。</p>	 <p>とくなが けい</p>	<p>中央公論社</p>

【編集後記】

3月の新刊図書では、“理科ダマン10”を配架いたします。理科ダマンシリーズは、公民館図書の中でも人気のシリーズです！大人の方でも十分読み応えがあり、意外と知らない知識が得られます！